

高等部2年生活4グループ 学習指導案

大阪府立和泉支援学校

T1 高木 沙羅

T2 大門 和美

1. 日時 令和5年9月20日(水) 第5時限(13:20~14:10)

2. 場所 第2学年4組教室

3. 学部・学年・グループ 高等部 第2学年 4グループ(9名)

4. 単元(題材)名 「都道府県について新聞を作成してみよう」

5. 単元(題材)目標

- ・疑問に思ったことや興味関心をもった事柄について、調べてまとめようとしている。(知識・技能)
- ・自分の考えや意見を他者に伝えようとしている。(思考・判断・表現)
- ・課題内容を理解し、主体的に課題に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

<和泉支援学校キャリアプランニングマトリックス>

- ・情報への関心 3段階 ①社会の様々な情報に触れ、興味・関心をもつ。

6. 児童生徒観

- ・男5名、女4名からなる計9名のグループで、学習における課題の理解度や取り組むスピードにはばらつきがある。また、他者とのコミュニケーションにおいて場面緘黙などの理由により、自分の気持ちを言葉で表出することに課題がある生徒や、グループの輪に入って積極的に意見を伝えることに苦手意識がある生徒もいる。これらのことから、各自のペースで取り組むことができる課題を中心に、意見の交換をするような場面では教員が間に入って各自の意見を共有することで、円滑に課題に取り組むやすい。

7. 教材観

- ・私たちが生活している日本という国及び各地域について学習することで、日本の各都道府県の名称やそれぞれの位置、名産等についての知識を増やし、日本社会に生きる一人の社会人としての基盤を築くことができると考える。その基盤は、高等部卒業後に地域の中の社会人として働いていくことになる生徒にとって、地域社会に対する愛情や地域社会の一員としての自覚をもつこと、地域社会の人々と共に生きていくことの大切さについて考えるきっかけになると考える。

8. 指導観

- ・新聞づくりという課題を設定することで生徒自身が興味をもった事柄について自分自身で調べることになるため、より主体的に課題に取り組むことにつながる。さらに調べた内容をもとに新聞を作成するためには、その内容を他者に伝えることを意識した表現にすることについても指導することで、コミュニケーション力の向上が期待される。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①教科書やタブレット型 PC を適切に利用し、課題を解決しようとしている。 ②都道府県の位置や名称、名産、ご当地グルメ等について知る。	①自分の考えや意見を、他者に伝えることを意識して文章や言葉で表現しようとしている。 ②自分で調べたことをまとめて、他者に伝えようとしている。	①不明点は教員に尋ねながら、課題に主体的に取り組もうとしている。 ②自分の興味・関心がある物事について自分で調べる。

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全 10 時間、本時は第 9 時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1	・都道府県の位置・名称についての学習①	・タブレット型 PC や教科書を用いて、プリントを使った都道府県の位置・名称に関する調べ学習に取り組む。	・タブレット型 PC や教科書を用いて、生徒自身で調べるように促す。	・A①②
	2	・都道府県の位置・名称についての学習②	・タブレット型 PC や教科書を用いて、プリントを使ったと都道府県の位置・名称に関する調べ学習に取り組む。	・タブレット型 PC や教科書を用いて、生徒自身で調べるように促す。	・A①②
	3	・各都道府県の名産やご当地グルメについての学習①	・タブレット型 PC や教科書を用いて、プリントを使った都道府県各地の名産やご当地グルメに関する調べ学習に取り組む。	・タブレット型 PC や教科書を用いて、生徒自身で調べるように促す。	・A①②
	4	・各都道府県の名産やご当地グルメについての学習②	・タブレット型 PC や教科書を用いて、プリントを使った都道府県各地の名産やご当地グルメに関する調べ学習に取り組む。	・タブレット型 PC や教科書を用いて、生徒自身で調べるように促す。	・A①②
2	5	・都道府県についての新聞づくりの題材決め、内容の検討	・47都道府県の中から1つ決めて新聞記事にする内容について考える。	・47都道府県の中から1つ決めて新聞づくりに取り組めるよう、記事にする内容について考えるように促す。	・A①・C②

	6	・都道府県についての新聞づくりの内容についての調べ学習	・タブレット型 PC や教科書を用いて、記事に内容やそれに関するイラスト、写真について調べる。	・タブレット型 PC や教科書を用いて、生徒自身で調べるように促す。	・ A①・C②
3	7	・都道府県についての新聞づくり①	・レイアウトを決めて新聞を作成していく。	・レイアウトを生徒自身が決めることができるようにいくつかのパターンを用意しておく。	・ B①・C①
	8	・都道府県についての新聞づくり②	・新聞を作成していく。	・記事の漢字にはなるべくふりがなを書くように伝える。	・ B①②
4	9	・都道府県についての新聞を読み、感想を伝え合う	・グループのメンバーが作成した新聞を読み、感想を感想用紙に記入し、他者に伝える。	・タブレット型 PC に各新聞のデータを用意しておく、教員と一緒に確認しながら読むように促す。	・ B①
	10	・都道府県についての新聞を廊下に掲示する	・作成した新聞を廊下に掲示する。	・グループで協力して掲示するように促す。	・ C①

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・自分の意見や感想を他者に伝えることを意識して文章で表現することができる。
- ・他者に自分の意見や感想を、伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・自分の意見や感想を他者に伝えることを意識して文章で表現しようとしている。
- ・他者に自分の意見や感想を、伝えようとしている。

(3) 本時で扱う教材・教具

- ・タブレット型 PC、感想用紙

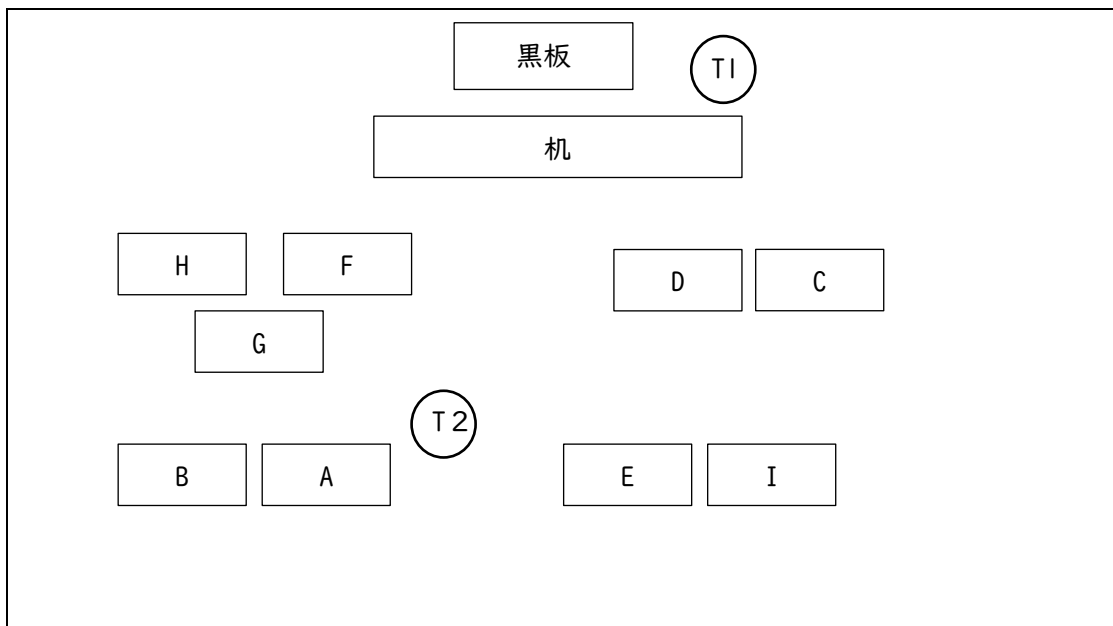
(4) 児童生徒の実態と本時の目標

※省略※

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
3分 導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、出欠確認 ・本時の流れの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直によるあいさつを促す。 ・作成してきた新聞を各自で読み、感想を伝え合うことを説明する。 ・感想を伝える際には、筆談もしくは教員による代読も可能であることを事前に伝えておく。 	
42分 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読む（1枚約3分） ・2人ごとのペアになり、感想用紙にお互いの新聞の感想を書く（約10分） ・感想用紙をもとに、お互い感想を伝えあう（約5分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット型PCに各新聞のデータを入れておき、1枚ずつ読んでいくように促す。 ・各新聞読み込み時間は約3分程度とする。時間内に読み切らない生徒もいると考えられるため読み始めには、教員が概要を説明しておく。 ・2人ペアを指定して感想用紙を配付し、お互いの新聞について感想を書くように説明する。 ・時間内に書き終えた場合は、別の新聞を選んで感想を書くように促す。 ・筆談で伝えることも可能であることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B①
5分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような感想を書いて伝えたのか、数名指名して発表するように促す。 ・日直によるあいさつを促す。 	

(6) 教室配置等（正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）



○新聞しんぶんをよんで、感想かんそうを伝えてみよう。



①2～3人のペアにんに分かれます。

②タブレットつかを使って、新聞しんぶんをよみます。

③感想用紙かんそうようしに、感想かんそう（面白おもしろかったところ、初はじめて知しれたこと、

自分じぶんでも調しらべてみたいと思おもったところなど）をかきます。

④相手あいてに感想用紙かんそうようしを渡わたします。

・相手あいてに伝つたわりやすいことを意識いしきしましょう。

・できるだけ具体ぐたいてき的に書かいてみましょう。

・丁寧ていねいな字じで書かきましょう。

感想用紙かんそうようし

名前（ ）

面白おもしろかったところ

初はじめて知しれたこと

自分じぶんでも調しらべたいと思おもったところ

伝つたえたいこと（自由じゆうに）
